

平成 26 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	まちづくり局登戸土地区画整理事務所	要素事業所管課	まちづくり局登戸区画整理事務所 まちづくり局交通政策室 建設緑政局道路河川整備部道路整備課 建設緑政局道路河川整備部道路施設課 建設緑政局道路河川整備部河川課 建設緑政局緑政部みどりの保全整備課 市民・子ども局市民文化室 市民・子ども局岡本太郎美術館 教育委員会青少年科学館 上下水道局下水道部管路課
----------	-------------------	---------	---

1 計画の概要

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区都市再生整備計画	計画の期間	平成22年度～平成26年度
計画の目標	<p>【大目標】個性ある利便性の高い地域生活拠点として相応しい「いきいきとした出会いのあるまち」の創造</p> <p>【目標1】市街地環境を改善し、誰もがいきいきと暮らせる生活拠点を形成する</p> <p>【目標2】地域内の回遊性を高め、駅を中心にさまざまな人の出会い、ふれあいの拠点を形成する</p>		
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤整備率を、平成21年度46%から平成26年度60%へ向上させる。 まちづくり協議会等活動数を、平成17～21年度の累計47回から、平成22～26年度累計56回へ向上させる。 歩行者満足度を、平成26年度70%とする。 		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 事業の一部をその他関連事業(「川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備」)に移行する変更を行った。 事業のスケジュールや精査を踏まえ、一部事業を本計画から除外した。 		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A(基幹事業)	道路事業、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、土地区画整理事業(都市再生)	7,509,000	6,147,000	6,147,000	100%	すべての事業が完成している。
B(提案事業)	青少年科学館改築、岡本太郎美術館、下水道(登戸地区)、事業評価検討委託、街並み形成活動推進事業	1,579,000	1,305,000	1,305,000	100%	すべての事業が完成している。
全体事業費(A+B)		9,088,000	7,452,000	7,452,000 【財源内訳】 国:2,980,000 市:4,472,000	100%	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤整備率 まちづくり協議会等活動数 歩行者満足度 			
定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業地区内における、計画移転棟数に対する移転建物棟数の占める割合(%) = 移転建物棟数 / 計画移転棟数 (1,358棟) まちづくり協議会活動の開催数(回) = まちづくり推進協議会、ワークショップなどの年度別開催回数における計画期間の累積値 向ヶ丘遊園駅連絡通路周辺、宿河原駅周辺、宿河原駅～藤子・F・不二雄ミュージアム周辺の歩行者満足度アンケート調査の回遊性向上に関する質問において「1. 向上した」「2. やや向上した」と回答したものの割合(%) = 「1. 向上した」+「2. やや向上した」の回答数 / 全回答数 			
その指標を設定した理由	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業による市街地環境の改善の効果を、建築物の更新に伴う防災性向上の観点で評価するため。 住民のまちづくりへの関心及び参画意識の高まり度合いを評価するため。 鉄道で分断されていた市街地の交流機能向上の効果や、当地区の観光資源へのアクセスなどの回遊性向上の効果の評価するため。 			
当初現況値	中間目標値	最終目標値(H26)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 46(%)H21年度 47(回)H20年度 —(%)H21年度 	<ul style="list-style-type: none"> — — — 	<ul style="list-style-type: none"> 60(%) 56(回) 70(%) 	<ul style="list-style-type: none"> 58(%)見込み 58(回)確定 89(%)確定 	<ul style="list-style-type: none"> 未達成 達成 達成

目標達成状況に対する所見	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸土地区画整理事業による幹線道路、区画道路の整備が進捗し、あわせて建物移転も進捗したことにより、防災性が向上し、地域生活拠点として良好な市街地環境の形成が進んでいる。 ・登戸土地区画整理事業に係るまちづくり協議会等の活動が増加し、まちづくりへの関心や参画意識の向上につながった。 ・道路事業、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設の基幹事業や提案事業により、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における回遊性が向上し、利用者や区内住民の歩行者満足度が高まった。
将来の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸土地区画整理事業による基盤整備や建物移転が一定程度進んだが、今後も継続して事業に取り組むことにより、良好な市街地環境が形成され、あわせて回遊性の向上が図られる見込みである。

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸地区周辺人口の推移 ・生田緑地来館者数
定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸土地区画整理事業の施行区域を含む町丁目の住民基本台帳人口総数（人） ・生田緑地内各施設の年間来館者数の合計
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業による市街地環境の向上が、住みやすいまちの形成につながったことを人口の増加により評価するため。 ・ビジターセンターの整備や青少年科学館の改築などが、生田緑地の来館者数増加につながったことを評価するため。 <p>評価指標である「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区内における歩行者満足度」とともに、地区内の魅力向上を示す指標として設定した。</p>
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸地区周辺人口 昭和60年度 16,762人（事業着手前） 平成21年度 20,693人 平成26年度 21,013人 ・生田緑地来館者数 平成22年度 39万人 平成25年度 119万人 <p>土地区画整理事業による道路などの生活基盤の整備にあわせて、登戸地区周辺の人口が増加していることから、住みやすいまちが形成されていることが確認された。</p> <p>ビジターセンターの整備や、青少年科学館の改築などにあわせて生田緑地の来館者数が増加していることから、生田緑地の魅力の向上につながっていることが確認された。</p>

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見 <p>内容：市のホームページにおいて、事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民からの意見を募集。 手法：担当課への意見書の郵送、FAX、メール、提出などによって意見を募集。 実施期間：9月1日～9月30日</p>
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見 <p>「こんな街に住んでみたい、というモデル的な地区にしてほしい」「道路の安全対策を進めてほしい」「駅前から事業を進めるとともに、緑の豊かな街にしてほしい」など、9件の意見が寄せられた。</p> <p>市民の意見やアンケート調査の結果、事業に対する歩行者や住民の評価は極めて高く、効果があったといえる。また、土地区画整理事業の推進に関する要望も得られたことから、引き続き事業を推進することが必要といえる。</p>

6 今後の方針等

総合的な所見	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の達成度 <p>「都市基盤整備率」の目標値は未達成であったが、一定の効果があった。 「まちづくり協議会等活動数」「歩行者満足度」は、いずれも目標値を達成しており、効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定指標以外の事業効果 <p>土地区画整理事業による道路などの生活基盤の整備にあわせて、登戸地区周辺の人口が増加していることから、住みやすいまちが形成されていることが確認された。 ビジターセンターの整備や、青少年科学館の改築などにあわせて生田緑地の来館者数が増加していることから、生田緑地の魅力が向上していることが確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意見 <p>市民の意見やアンケート調査の結果、事業に対する歩行者や住民の評価は極めて高く、効果はあったといえる。また、土地区画整理事業の推進に関する要望も得られたことから、引き続き事業を推進することが必要といえる。</p>
今後の方針 次期計画 (あり)・なし	<p>都市基盤整備は順次進めているが、道路整備や建物移転の進捗率が6割程度であり、生活環境の改善、防災性の向上を図る必要があるため、登戸土地区画整理事業については、引き続き事業を推進する。</p>